

## 第 55 回（令和 7 年度第 1 回） 暁木会・KTC・神戸大学意見交換会議事録

■日時： 2025 年 7 月 10 日（木） 17 時 30 分～19 時 30 分

■場所： 神戸大学生協 「レストランさくら」

■出席者：

神戸大学 内山専攻長、中山先生、竹山先生、橘先生、三木先生、楢田先生、齋藤先生、  
瀬木先生、高山先生

暁木会 山下会長、永井副会長、久保副会長、中田幹事、射場幹事、後藤幹事、  
谷口幹事、吉牟田幹事、上山幹事

KTC 濱村理事

■議事：

### 1 暁木会会長あいさつ

暁木会会長よりあいさつ

### 2 KTC 理事あいさつ

濱村 KTC 理事よりあいさつ

### 3 市民工学専攻長あいさつ

内山市民工学専攻長よりあいさつ

### 4 学術振興基金助成金の贈呈

### 5 自己紹介

<意見交換会>

### 6 暁木会からの報告

#### ○令和 5 年度暁木会総会概要・振り返り（資料 1）

（暁木会）

- ・コロナ禍前と同様の形式で開催した。
- ・総会の参加者数はコロナ禍前に比べて減少した。参加者の増加に向けて開催方法等を検討していきたい。

（大学）

- ・名前を卒業記念パーティ、謝恩会などとしてはどうか。
- ・卒業式もあり、移動時間を含めると、タイトである。
- ・2 部制にして、パーティだけ学生に参加いただくことしてもいいのではないか。
- ・卒業式と合わせてスケジュールの検討が必要ではないか。

#### ○主な年間行事予定（資料 2）

（暁木会）

- ・ 7月25日に土木業界説明会を予定している。今年度は講義の中で開催する。

#### ○大学3回生への業界説明会の実施報告（資料3）

- ・ 今後、修士1回生も参加できるようにするなど検討してもよいのではないか。
- ・ 事後アンケートについて、聞きたかったことなどの項目を設けて、フォローアップなどしてもよいのではないか。

#### ○会費会員の状況等（資料4）

（暁木会）

- ・ 資料に基づいて説明。

#### ○暁木会ニュースの発行（資料5）

（暁木会）

- ・ 研究報告について、後藤准教授にご相談させていただく予定。
- ・ 8月上旬に最終原稿完成、9月発行の予定で進めている。

#### ○R6年度 暁木会活動（案）（資料6）

（暁木会）

- ・ フットサルについて、学生主催で進めており、暁木会として、暁木会カップなどで支援している。
- ・ 昨年度同様、暁木会の趣旨などご説明いただきたい。
- ・ 暁木会HPのリニューアルをするため、予算を計上している。
- ・ 暁木会ニュースが生徒にも届くようにしたいと考えている。
- ・ 土木業界説明会について、女性OBを増やし、今年度は6名参加いただく予定。

（大学）

- ・ 生徒に学内のメールなどで一斉配信できるように考えていきたい。
- ・ 暁木会ニュースのタイトルでは内容が分からないため、見出しをつけてはどうか。
- ・ 暁木会が、OBOG訪問の窓口になるといいのでは。KTCでも実施している。
- ・ 直近の卒業生で、会費会員になっている人が少ないのは問題である。

（KTC）

- ・ KTCのように1回払い切りにしてもらってはどうか。
- ・ 卒業して数年たってから、OB会に興味を持ち出すこともある。そういう人たちにどう案内するかを考えてはどうか。

## 7 KTCからの報告

#### ○ホームカミングデイの開催（資料7）

(KTC)

- ・10/26 (土) ホームカミングデーで、今年度も暁木会主催の「橋の学校」講座をお願いしたい。場所は、工学会館南側の予定である。

(暁木会)

- ・昨年度行っていた阪神高速保有のレンガアーチの体験型コンテンツを使用できるか確認中であり、改めて情報共有させていただく。

## 8 神戸大学からの報告

(大学)

- ・4月開催の業界説明会は、時間が少なく説明できる業種が限られると感じた。
- ・インターンシップの申込が始まる5~6月頃から、学生の意識が高まってくる。4月時点では就職と言われてもピンとこないようだ。
- ・これらの課題を踏まえて、6~7月の授業3~4コマを業界説明会に使えないかと考えている。
- ・OB会で授業の一部を受け持ってもらうと助かる面もある。授業を受け持ってもらうのであれば、非常勤講師として登録してもらうことになる。

(暁木会)

- ・業界説明会は、大学院進学や就職を考え始める一つの契機にはなったと考えている。
- ・大学の発展のために、OB会を活用していただければよい。人材は豊富だと思う。
- ・授業の一環として行うなら、内容や人選等、早く準備する必要がある。
- ・業界説明会への参加を希望する企業は多いが、個々の企業のPRになると困る。
- ・OB会として授業を受け持つのか、企業として受け持つのか、やり方を整理する必要がある。企業としてなら仕事として対応できる面もあるだろう。
- ・授業とするならコンセプトを明確にして、一過性ではなく継続できる内容にする必要がある。コンセプトは大学側から示してもらいたい。

(KTC)

- ・卒業生からは、やはり就職に関する情報が欲しかったと聞いている。
- ・修士1回生も情報を求めているかもしれない